

令和 5 年度 窯業技術研究所事業報告

1 研究会とセミナーの開催（教育経費）

- ・ものづくりフォーラムの開催 別紙資料①

「未来のために今、やる事、やめる事」 参加人数 13 人

職人の高齢化や担い手不足等の問題や課題を共有し、産地の未来について考えるフォーラムを開催。

ファシリテーター：野村理華子（㈱東濃新報社 代表取締役）

パネリスト：塚本カナエ（KanaeDesignLabo 代表）

日置哲也（カネ利陶料有限会社 代表取締役）

内藤眞平（有限会社丸新製陶所 代表取締役）

河口尚大（山喜製陶㈱）

- ・陶磁器セミナー

「深掘りしよう！青磁のせかい」 受講者 7 名 4 回

講師：手島 敦（岐阜県立多治見工業高等学校 教諭）

「青磁釉」をテーマに原料の性質や金属顔料の発色のメカニズムや焼成方法について学ぶ。

2 新分野開拓事業

- ・「令和 5 年度ぎふ地域 D X 推進補助金事業」に採択され、3D システムを活用した「3D Labo」を整備して人材育成を行った。（補助額 1,891 千円）
- ・CAD 用パソコン、CAD ソフト、プロジェクター等の更新
- ・CAD 講座の開催 別紙資料②

初級コース（12 月・4 回）2 社、中級コース（1 月・3 回）2 社

3 伝統技術伝承事業

- ・技術講座の開催 別紙資料②

染付け講座 5 月～6 月（8 回）受講者 8 名 講師：作道 裕明

骨描き、ダミの技法を学び、オリジナルデザインの染付け皿を制作

上絵付け講座 3 月（4 回）受講者 5 名 講師：小南 俊夫

様々な上絵加飾技法の基礎を学び、壁掛け陶板を制作

4 食器デザイン展開催事業

- ・第28回 瑞浪市児童・生徒食器デザイン展を開催

別紙資料③

応募総数 2,048 点（小学校 1,624 点、中学校 424 点）

130 点のお皿と原画を展示し表彰式を開催 11/4・5

特賞 7 点を市のホームページに掲載

- ・市長賞のデザインを給食食器に採用

5 依頼試験・試作業務

令和5年度の実績

- ・依頼試験（粒度分析、鉛・カドミウム溶出試験、スポーリング試験）

700 点（市内 663 点・市外 37 点）手数料 約 92 万円

- ・依頼試作（模型原型試作、意匠試作、CAD・CAM試作）

158 点（市内 54 点・市外 104 点）手数料 約 263 万円

6 学校教育の授業、地域活動等の支援

別紙資料④

- ・瑞浪小学校3年生施設見学 6/29 140 名

- ・土岐小学校3年生施設見学 10/18 50 名

陶磁器の品質検査や3次元CADによる商品開発などの業務について説明と招きネコの絵付け体験を行った。域学連携事業により高校生による「不思議なやきもの」の実演説明を行った。

- ・瑞浪中1年生の授業と絵付け体験 6/14・23、7/11 105 名

- ・瑞浪高校2年生「インターンシップ」 10/4～6 4 名

- ・日吉公民館の陶芸作品制作支援

7 試験機関及び各協議会等との連携

- ・東濃四試験研究機関協議会

会議 6/21、成果発表会 3/7（主催：名古屋工業大学、共催：四試協議会）

- ・岐阜県陶磁器デザイン協議会

理事会・定期総会 6/28、デザイン研修会 10/26・27

- ・グリーンライフ21プロジェクト 定例会、オンライン会議

- ・産業技術連携推進会議セラミック分科会

デザイン担当者会議 11/16・17

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター

- ・全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議